



# 県病医療ニュース

病院機能評価3rdG:Ver2.0認定病院

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係

※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

大分県立病院ウェブサイトはこちら



## 乳腺外科

## 切らない早期乳がん治療

は しょう しゃく

## 「ラジオ波焼灼療法」をはじめます

乳がん治療では通常皮膚を切って切除手術をおこなうことが多いのですが、手術のかわりとなる新しい治療が保険適応となり、当院でもおこなうこととなります。簡単に説明すると、ラジオ波という高周波をもちいて腫瘍をゆであげる治療で、「ラジオ波焼灼療法」といいます。

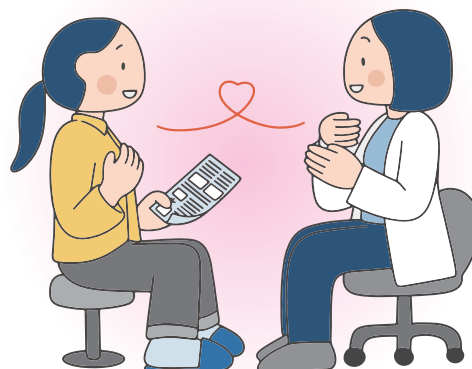
ラジオ波焼灼療法とは電極を腫瘍に刺して通電し、針先の周囲温度を上げることによってがん細胞を死滅させる治療方法です。この治療法は2013年8月より臨床試験として行われ、通常の切除手術と比較して5年間の治療効果は同等と認められ、2023年12月に保険承認となりました。

この治療は手術を行う医師や施設が日本乳癌学会から認定されていることが必要で、当院でも今年2月より体制を整えておこなうことが可能となります。

この治療のメリットとしては針を刺す治療なので、切除と比べ傷がめだたない、変形が少ない、入院期間の短縮などがありますが、デメリットとしてはサイズが大きな腫瘍だったり、病変が広い範囲にあったり、皮膚に近い場合にはおこなえません。また治療は全身麻酔で行う必要があります。

この治療を行うには適応条件がありますので、希望があれば担当医にご相談ください。

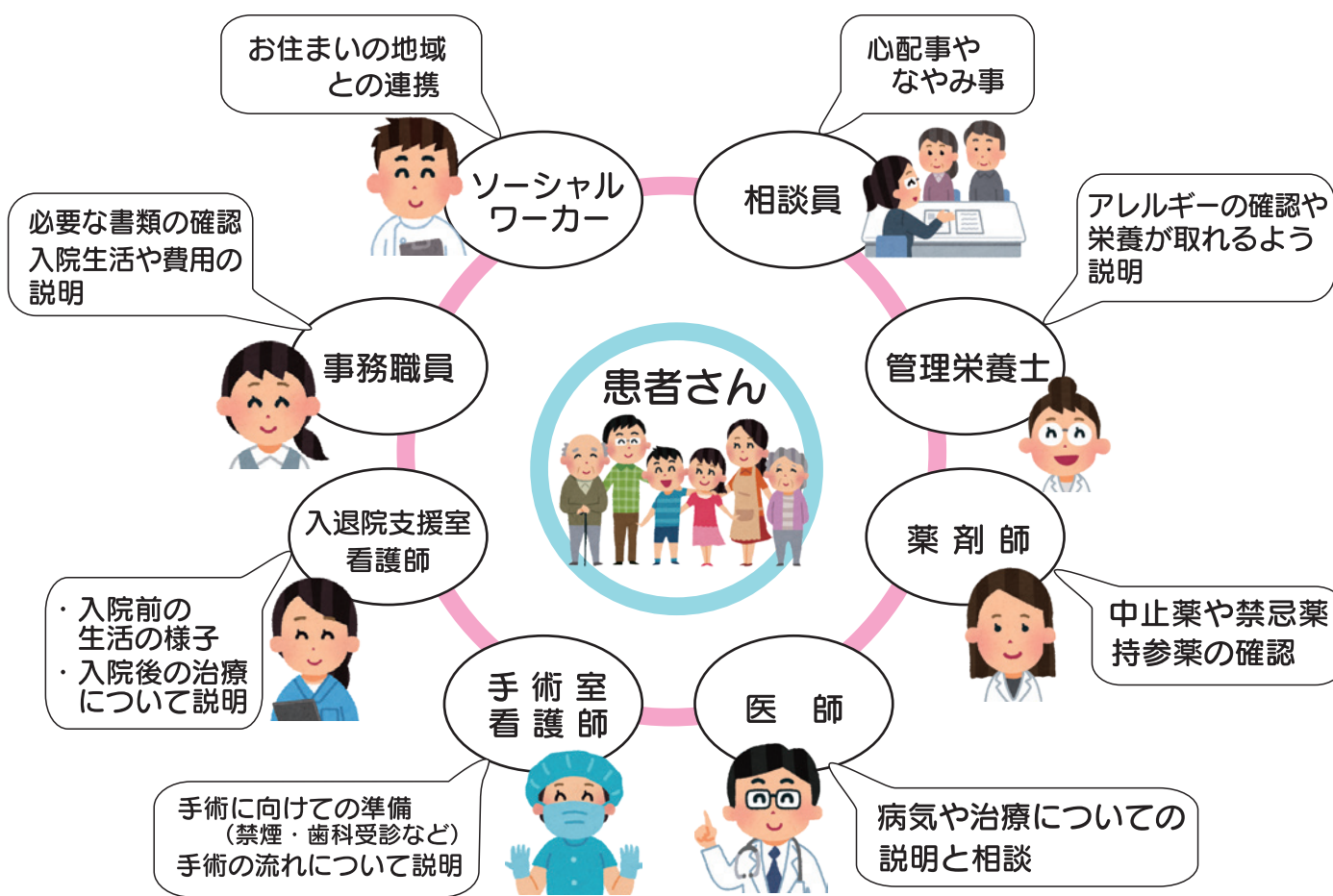
(がんセンター乳腺外科 部長 増野 浩二郎)



患者総合支援  
センター

入退院支援室における  
「入院支援」のご紹介

当院は、高度急性期病院としてさまざまな機能を担っています。  
当院へ紹介され、治療・手術・検査・教育・病状管理のために入院が  
決まりましたら、それぞれの専門を活かして、入院される方が安心して  
治療を受けられるよう入院に関する説明をしております。



安心して入院できるために  
安全な治療を受けるために



看護師ほか医療スタッフの  
臨時職員を募集しています。  
詳しくはこちら

(入退院支援室 看護師長 熊田 東子)